

01

自己紹介 & 中高時代のこと

出身

兵庫県出身

課程

修士課程2回生

専攻

応用生物学専攻
植物分子工学研究室



国語・英語が得意

吹奏楽部（サックス）
理系進学は
考えていなかった



生物の授業に出会う

光合成のすごさに衝撃
植物・生命の仕組みへの
興味が芽生える



理系進学を決意

苦手な数学への不安はあったが
「知りたい」気持ちを
優先して決断



研究の世界へ

生物好きな仲間と出会い
大学院へ進学
コケと宇宙を研究中

中学生

高校入学

高2～受験

大学入学～現在

理系に進んだきっかけ & 受験勉強



理系を選んだきっかけ

- ・ 高校生物で光合成の仕組みを学び、衝撃を受けた
- ・ 「生命の仕組みを解き明かしたい」というワクワク感が原動力
- ・ 植物・生物学をもっと深く学びたいと思い理系へ



受験勉強の方法

- ・ 得意を伸ばす × 苦手をなくす、両方のバランスを意識
- ・ 受験方式・志望校ごとの配点の違いを把握して効率よく対策
- ・ 苦手な数学に一番時間をかけた
- ・ 好きな生物・得意な英語はご褒美・息抜き感覚で勉強（生物は記述問題を中心に対策）

課程での学び & 研究室紹介

学部での学び

- ・カイコの実習が印象的（この大学ならではの体験）
- ・植物の授業：植物の仕組みから社会応用のマクロな視点まで一続きで学べた

研究室の雰囲気

- ・学生10名+ポスドク研究員1名
- ・コアタイムなし、アットホームな雰囲気
- ・先生は扉を開けて在室、声をかけやすい
- ・メンバーで登山・BBQも 

研究室を選んだ理由

- ・植物・光合成・葉緑体を扱う研究室を探していた
- ・街路樹の光合成、アクアポリン、スペースモス……どのテーマも面白そうで即決！

研究内容

- ・宇宙環境で植物を育てることを目指してヒメツリガネゴケ（コケの一種）を使って研究中
- ・コケの遺伝子（AP2転写因子）のはたらきを調べ、光や乾燥などのストレス応答を解析

大学生生活の様子

サークル・趣味

- ・ビッグバンド・ジャズサークルでサックスを演奏
(中高の吹奏楽部から継続、現在は引退)

1日のスケジュール

- ・学部：授業 → 研究室 → サークル
- ・大学院：研究室での実験・作業が中心
+ 就活 + 土日はアルバイト

アルバイト

- ・研究補助員、ピアチューター（後輩の学習サポート）
- ・結婚式場兼レストランのスタッフ（現在も継続中）

印象に残る活動

- ・4回生で北海道にて学会発表
- ・他の研究発表の聴講や先生方との交流
- ・「研究の世界の広がり」を実感した経験に

受験生へのメッセージ

数学が苦手で「理系でやっていけるかな」と不安だった私が、今は植物を宇宙に送る研究をしています。受験の知識と研究で使う力は、実は全然違います。大切なのは「これが知りたい」という気持ちです。

興味のあることを深く学べる環境で、同じ方向に好奇心を持つ仲間と出会えるのが、理系進学が一番の魅力だと思います。どこに進むことになっても、楽しい学生生活は必ず送れます。思いつめすぎず、自分の「面白い！」を信じて進んでみてください。